

# 委員会報告

2013～2014年度

No.1

<b>第 2 回</b>		委員会名	政策・中長期計画委員会			
		委員長名	L 小堀 光由			
開催日時	2013年 8月 21日 水曜日 15時 45分 ～ 17時 30分					
開催場所	キャビネット事務局会議室					
出席者	×	鈴木地区ガバナー	×	塩月第1副地区ガバナー	×	近藤第2副地区ガバナー
	○	L 小堀光由委員長	○	L 追原篤男副委員長	○	L 篠 順三副委員長
	○	L 松尾志朗副委員長	○	L 川口 学副委員長	○	L 田原 進委員
	×	L 秋本由紀子委員	○	L 外山一宏委員	○	L 洗 昌躬委員
	○	L 小倉 豊委員	○	L 菊池一夫委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		出席オブザーバー				
	○	L 菅原雅雄SPA	○	L 有山 賢担当副幹事		
次第	司会・進行 L 篠順三					
	1	開会挨拶				
	2	ガバナー挨拶（委員長挨拶） L 小堀光由				
	3	構成メンバー紹介及び自己紹介				
	4	審 議 別紙議題による				
	5	その他				
	6	閉会挨拶				
議 題	審議経過事項の概要					
	1	①基本方針について				
	2	・ガバナー基本方針				
	3	・委員会諮問事項				
	4	(1)当該年度の問題点の見直し				
	5	(2)GMT担当委員会と連携して中長期に於ける会員の増強を目的としたクラブの再生の立案をしてください。				
	6	(3)選挙制度の改善等、地区分割も考慮に入れた、地区のビジョンを考えて下さい。				
	7	(4)ライオンズクラブが地域社会で存在感を示せるような統一アクティビティの取り組みを提案してください				
	8	②年間計画について				
	9	③役割分担について				
次回開催日時 場所	2013年 9月 18日 水曜日 15時 45分 ～ 17時 30分					
	キャビネット事務局会議室					
	作成者			L 菊池一夫		

議 題	審議経過事項の概要
1	L小堀委員長挨拶
	第1回委員会でメンバーの顔合わせをしましたが、今回から諮問事項に関してガバナーの意を汲んで、皆様からの活発な意見を頂きながら取り組んでいきたいとの挨拶があった。
2	議題・審議事項
	①基本方針の確認
	L小堀委員長
	・ガバナー基本方針の確認。委員会メンバーと意を汲んで取り組んで動きたい。
	・諮問事項 (1)当該年度の問題点の見直しについて各委員の意見発表
	L小堀委員長
	(1)「当該年度の問題点の見直しについて」は、具体的に取り組むべきことを再確認して進める。
	(2)～(4)は年間計画に関係があるので、先に②年間計画について確認したい。
	②年間計画について
	L篠副委員長より下記変更説明があった。
	・11月20日(金)→12月3日(火)に変更
	・4月9日(水)がキャビネット事務局が使えないので、他の場所を確保する。
	③役割分担について
	L小堀委員長より資料に基づき各担当役割についての説明があった後、担当副委員長から受け持ち役割に絡めた関連諮問事項(2)～(4)について質問、意見があった後 各委員からの活発な意見発表があった。
	L川口副委員長
	・別な委員会と連携してやるのかの確認をしたい。
	L小堀委員長
	・GMT担当委員会、地区コーディネータ等と連携が必要。
	L菅原SPA
	・20人以下が44%。中には5～6人のところもある。クラブも減ってきているのが現状。
	2015年山田国際会長誕生の時に、日本のメンバーを22万人まで増やしていこうという目標がある。これには、家族会員、賛助会員を増やすことも一つの手である旨の発言があった。
	今月末から来月始め頃、バンコクで会員増強に対する委員会が開催される。その結果も踏まえて研究されると良い。またリテンションも考えながら進めていかないと難しい。名古屋は家族会員の増強がすごかった。
	L小堀委員長
	・3リジョン1ゾーン所属だが、その中でも10人以下のクラブがあり現実的には厳しい運営をしている。アクティビティのためにはやはり数も必要でありリテンションを考える必要もあるのでは。
	家族会員制度を正しく理解されていないところも多い。

議 題	審議経過事項の概要
	L松尾副委員長
	・家族会員でバッチを付けていないところが多い。会に誇りを持ちバッチを付けてもらう
	L田原委員
	・家族会員には積極的ではなく、強行に反対する人もいる。経験を積まれた方に多い。
	正会員と家族会員の金額の差などをどうするのかと意見が出てまとまらない。
	・家族会員を入れることに反対が多いクラブもある。補助を出し義理入会の方も多い
	・家族会員の出席が悪い。会費が高いという人も沢山いる。
	L追原副委員長
	・女性会員もいる。賛助会員でまず入会してもらい、クラブの取り組みを通して入会に導くこと
	もしている。
	L松尾副委員長 家族会員は名前だけというところも多い。
	L洗委員 家族会員は現在2人。当初は義理で、半期分クラブ負担、残り半期分自己負担
	でやってみた。三十数名家族会員で入会し、翌年二十数名退会した。最後は2人くらいに
	なった。
	L外山委員
	・家族会意としての登録はしていないが、例会やアクティビティには参加して頂ける。
	L小堀委員長
	・家族会員：国際協会は会員が減ったから入金を増やすためにやっている訳ではなく、
	その先に正会員がいるという大きな計画のもとで実施している。
	L小倉委員
	・家族会員の出席率は悪い。例会には殆どでない。家族会員、賛助会員はステップ1として
	理解を高める必要がある。魅力付けをしないと会員増強は難しい。年会費の問題もある。
	奉仕団体だからお金は二の次ではないかという人もいる。ライオンズは何をやっているんだ
	ろうと、思っている一般の人も多い。会員の入会が減っているのは経済情勢の問題もある。
	L菊池委員
	・家族会員については、クラブとしてはあまり積極的ではない。会員も50名弱おり、家族会員
	を入れるよりも、自分達でアクティビティをやるのが重要。またいい仲間が入会すると、そこ
	からいい循環が始まる。家族会員については皆さんお金集めのような感じをもたれている。
	川口副委員長
	・家族会員ではなく、正会員として事業をやっている女性を3名入れたが、クラブメンバーの
	理解にも差がある。抵抗あるのは正会員は23万でやっているが、家族会員は半分の11.5
	万円。会費も安いようで高いので少しずつ減っていく。ゾーンの中で年間5万円くらいでやっ
	ているところは、お勤めしている方など他よりも多くの会員がいる。活動はやってくださる。
	一時増えたが、さっといなくなった。安いけど付いていけないなどの理由。

議 題	審議経過事項の概要
	子供も2人も入る必要はないと考えるので、クラブ統合なども検討している。人を入れても一人退会したりするので苦労している。
	L篠副委員長
	・家族会員は17～18名いる。正会員と合計すると35～40名名になる。
	代議員の割り当ても違って来る。家族にも情報がいくということが確立している。正会員が行けばいいんだという意識が確立している
	賛助会員:バッチ代も含んで計算して最低限度の額で賛助会員を募ることもやっている。
	賛助会員について積極的に推し進めていこうと思っている
	L川口副委員長
	・委員会単独では、難しそうなので、他の委員会と連携して進めていく。
	・上の方からアレンジして橋渡しして欲しい。
	L追原副委員長
	・女性セミナーなどを行い、ターゲットにする人を呼んでもらった。
	・早い時期にアクションを起こして行かないと、あっという間に年度が終わってしまう。
	L松尾副委員長
	・新しい人が入ったら、高齢で退会していくことを何とかする必要もある。
	・メンバーが燃えるような統一アクティビティの実施が会員増強につながる。
	L菅原SPA
	・かつてはウェイティングメンバーがいた。中国に学校を建てるような余裕もあった。
	亡くなられた小川元国際第一副会長は「クラブでできないことはゾーンで、ゾーンでできないことはリジョンで、リジョンでできないことは地区でやればもっと大きなことができる」とおっしゃっていた。オリンピックの時に、国旗を掲げるポールを全部ライオンズクラブが出したり有意義なことを沢山してきた。
	L小堀委員長
	存在感があるような統一アクティビティを実施することが、色々なキッカケになってくるでしょう。
	L川口副委員長
	会社が大変だから入会は難しいという声が一般的。社会情勢が安定すると、入会も増えるだろうが、お金をだすだけでは難しく、世間が厳しいので一般の人が理解するようなアクティビティを実施していくことが一番。
	(3)「選挙制度の改善等、地区分割も考慮に入れた地区のビジョンも考えてください」について
	L追原副委員長
	・前年度の申し送り事項的な事が有ればお聞きしたい。
	L小堀委員長
	・前年度の政策・中長期委員会で選挙の為の地区分割をした方がいいんじゃないかという懸案



議 題	審議経過事項の概要
	L松尾副委員長
	・選挙管理委員になってもやることがない。注意するだけで、怪文書が出て何もできない。
	L小堀委員長
	・前期の委員会資料を配布されて、内容を説明された。
	・選挙の為に3つのエリア内を持ち回りで選挙ができる方法を構築されている。
	L松尾副委員長
	・メンバー数を明確にする提案もできる。
	L外山委員
	・ライオンズに入会して5期目だが、去年は当委員会に関わっていたが、ガバナー選挙による弊害
	を感じた。一メンバーからすれば、不毛。何も見えない中で代議員になると、知らないところから電
	話が掛かってくる。選挙があることによって、330A地区が一つになれない。奉仕活動をする団体
	としては時間の掛け方に疑問を思うし、誹謗中傷より政策で話をすればいいと思う。
	L有山担当副幹事
	前期委員会でガバナーの立候補の要件を議論した時、会長経験、アジェットシー経験、理事会
	の構成員を2年、の3つの要素を満たせばやれることになっているがこれは少しおかしいのではな
	いかと言う話がでた。もう少しキャビネットの中での経験を積む。副幹事や委員会の委員長を経験
	する等があつて3箇所を持ち回り、第二、第一と経験する中で勉強して戴いた方がガバナー
	になって頂く。なりたい人がやるのではなく、なりたい方にやって欲しいというのが、
	昨年の委員会での核心的なところだった。
	L菅原SPA
	・ゾーンチェアパーソン、リジョンチェアパーソン、幹事、会計の経験をする。また。複合も知らない
	委員の経験もない中でやると、色々な問題も出てくる。地区に出ると複合にも出なくてはならない
	国際会則の中にそれ以上の条件を付けてはならない、となっているので、会則で縛ることはで
	きない。又、選挙規定で縛ることは難しいので、何らかの方法論を見つ出さなければならぬ。
	3つに分けてローテーションでやっていくということ是可以する。皆様の目を見ていただくために履歴
	書もあれば所信表明など、色々な条件を満たすことになっている。
	また35人のガバナーが全国にいらっしゃるが、その中で相当出来る人もいます。やはりある程度
	の経験は必要。
	L外山委員
	・4000人以上メンバーがいるのでエリア毎に出るとしても、小さい中から選ぶという事ではない
	と思う。
	L追原副委員長
	・タイムスケジュールは来年の6月に最終答申を出すことで良いのか

